

しゃきょう
**社協
かみかわ**

主な記事

- 2,3ページ 令和5年度神河町社協事業計画と会計予算
- 4ページ ひと花通信
私たちの町のボランティア⑥
- 5ページ 福祉情報掲示板「まちのふくし便り」
TSU・NA・GU④
- 6ページ ボランティア活動助成金のお知らせ
“ちょっとイイコト”
- 7ページ 心配ごと相談のご案内
- 8ページ 感謝のお知らせ かみかわペンリレー⑥ 他

No.105

2023年4月発行



4・5 月号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会

表紙より

みんなでいっしょに作って、いただきました。楽しかったよ! (ぎょうざパーティー)
〔かみかわ移住定住サポートセンターの
子どもが集う「らんらん食堂」〕
(5ページに関連記事)

協事業計画と会計予算

活動目標⑤「誰もが活躍する場をつくろう！」

- ◆引き続き、ひと花利用者一人ひとりが持つ力を、地域の生活課題の解決のために活かせる事業の開発に努めます。
- ◆高齢者の社会参加と介護予防について広報紙等で啓発し、地域の見守りや助け合いに高齢者が力を発揮することによる「元気で長生き」を推進します。

活動目標⑥「みんなでボランティアの輪をひろげよう！」

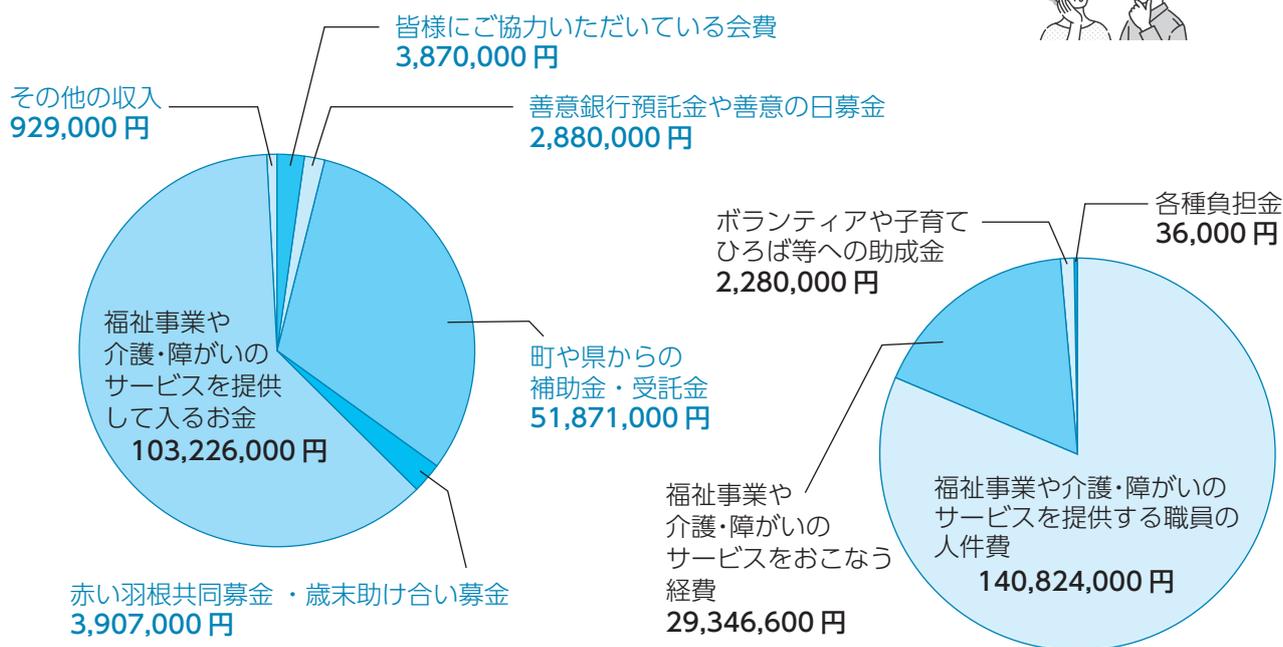
- ◆企業の社会貢献活動への関心を高め、参加と活動の充実を促すために、まずは社協の福祉事業にご協力いただいている事業所を、広報紙等を活用して周知します。また「ちょっといいこと運動」についても啓発します。
- ◆ボランティア活動への関心を高めるため、身近なボランティア活動を今後も引き続き広報紙で紹介します。

活動目標⑦「先への不安を取り除く福祉活動を展開しよう！」

- ◆特例貸付の借受世帯の償還や生活状況を把握し、必要に応じた相談・支援をおこないます。
- ◆社協における生活相談の実施について広く周知を図るとともに、行政や関係機関における生活困窮者支援に関する相談窓口や取り組みなどの情報を収集し、社協のホームページや広報紙への掲載、民生委員児童委員や関係者への周知などをおこなうなど、必要とする人に情報を届ける取り組みを進めます。
- ◆お買い物送迎事業では利用条件を見直し、必要な人が利用しやすいサービス実施に努めます。
- ◆福祉給食サービス事業は、調理ボランティアの減少と今後長期にわたるあじさい苑の使用が困難な状況を鑑み、大河内保健福祉センター調理室での一体的な実施を進め、安定した事業継続に努めます。
- ◆介護人材を養成するための研修を、複数法人で協力し合いながら開催します。

活動目標⑧「地域で防災・減災に取り組もう！」

- ◆社協内のそれぞれの介護サービス事業所において、大規模災害による被災等、危機的な状況となった際、重要な業務をどのようにして継続的に実施するかを示した計画書（BCP）の策定作業に取り掛かります。
- ◆集落における福祉防災マップ作成に積極的に協力します。
- ◆郡内社協の災害時の対応について理解し、効果的な連携方法を3町で検討します。



入ってくるお金 **166,683,000 円**

使うお金 **172,486,600 円**

※収支差引の不足分は、前年度繰越金を充当します。

令和5年度 神河町社

今年度の社協活動

1. 今年度は、令和3年度から5カ年の社協活動計画として策定した「神河町社協第3次地域福祉推進計画」の中間年度となります。そこで、進捗評価委員会（仮称）を設置し、計画推進の進捗状況を点検・評価し、必要に応じて軌道修正を図ります。また、広報紙等で推進計画の内容を再度周知し、「地域共生社会の実現」に向けて住民の皆様と共に取り組んでまいります。
2. 「生活困窮者支援体制強化（ほっとかへんネットワーク（仮称）配置）事業」は、特例貸付けの償還計画期間最終年度である令和17年度までの間毎年交付される500万円余りの補助金を活用し、社協の体制強化をしたうえで、借受世帯を含めた生活困窮者支援を展開する事業です。県内すべての社協で借受世帯等からの相談に対し支援をおこなうとともに、必要な情報が必要な住民に届くための取り組みを始めます。そのために当会では、まずは新たな職員の採用と配置換えも含めて相談・支援体制を整え、生活困窮者支援の充実を図ります。
3. 昨年度実施した担当業務の短期交代を今年度も継続して実施し、異なる目線での点検評価、スリム化、負担軽減を進めるとともに、地域の実情に応じた福祉サービスの開発と実施に努めます。
4. 昨年度途中から介護職員を2名採用し、訪問介護事業所（ホームヘルプサービス）と多機能型事業所ひと花の営業日の拡充に向けて検討、試行してきましたが、今年度から訪問介護事業所は土祝日、多機能型事業所ひと花は平日の祝日の営業を本格実施し、介護サービス及び障がい者福祉を更に充実させます。
また、介護事業における人員不足は慢性化しており、当会では事業の効率化を図ることを目的に、ICT（情報通信技術）の導入を積極的に進めます。



●推進計画に定める8つの活動目標への取り組み

活動目標①「違いを認め合う福祉教育をいろんな世代ですすめよう！」

- ◆民生委員児童委員やボランティアグループと連携し、「地域共生社会」をテーマにした福祉出前講座を地域の集いの場で開催します。
- ◆ボランティア推進活動校に対し、学校や身近な地域の中での「共生」について、気づき共感する機会となるプログラムを提案します。

活動目標②「ひとりぼっちを作らない地域にしよう！」

- ◆身近な集い場の例や、馴染みの人と集い交流することの効果を知り、停滞している地域の集い場の再開を促します。
- ◆繋がりがづくりの第一歩である“あいさつ”や“声かけ”を啓発し、孤立を生まない地域づくりを進めます。

活動目標③「見守りあい、支えあう仕組みづくりをすすめよう！」

- ◆引き続き、集落の協議体の立ち上げと運営の支援をおこなうとともに、越知谷地域自治協議会の「安心部会」に生活支援コーディネーターが参加し、越知谷全域の見守りあいとお互いさまの支えあいの仕組みづくりを支援します。また、他の地域自治協議会への参加についても関係者に働きかけ、全ブロックでの第2層協議体の設置を進めます。
- ◆集落協議体や自立支援マネジメント会議で把握している地域資源、地域課題、個別課題を取りまとめ、資源と課題の見える化を図ります。

活動目標④「身近な困りごとをキャッチしてつなごう！」

- ◆どんなニーズも一旦受け止め、解決策を当事者と一緒に考えます。その上で、複合問題など困難なケースについては、関係機関と協働して解決を図ります。

- ◆アウトリーチによる相談支援を積極的におこない、悩みごとを相談しやすい環境を作ります。

※アウトリーチとは、福祉分野では「支援が必要であるにも関わらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けるプロセス」のことを言います。

～生きいきと障がい者が活動する通いの施設～

ひと花通信

ひと花では、神河町赤十字奉仕団様よりいただいた調理器具を利用して、毎週金曜日にお菓子作りをしています。毎回、どんなお菓子を作るかは、その日のお菓子作り当番がレシピ本を見て決めています。当番によっては太らない！？お菓子の本を持って来て、その中からレシピを選んで作っています。毎週金曜日の15時には、おいしいお菓子の完成です！ いい匂いがしてきます～♡



私たちの町のボランティア ⑥

～おだわらミニデイ～



マスクを外して写真撮影を行いました。

今回は南小田区の農村環境改善センターで毎月実施されているおだわらミニデイを紹介します。

取材当日はボランティア、参加者合わせて10名ほどが参加され、内容は、映画鑑賞でした。映画を見終わった後は、時間の許す限りおしゃべりタイム。NHKの朝ドラの話しや、皇室の話題に華が咲きました。

「ここ数年は、コロナの影響で思ったような内容ができてないんや」と、代表の高峰さん。それでも参加者とボランティアとの垣根が見られず、繋がっていることの大切さを実感できるとも居心地の良い場所でした。

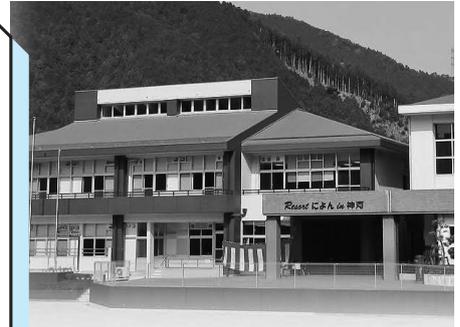
※本紙では、定期的に社協ボランティアセンターに登録しているグループを紹介しています。

介護施設「リゾートによん in 神河」

南小田区で、介護事業を営んでおります「リゾートによん in 神河」です。学校をリノベーションして「サービス付き高齢者向け住宅」と「小規模多機能」を行っています。

現在、空き部屋もありますので、ご入居の相談など、お気軽にご連絡ください！

リゾートによん 電話 0790-34-1824
<http://www.resort-niyon.com/index.html>



かみかわ移住定住サポートセンター【地域・こども食堂『らんらん食堂』】

令和3年度より移住定住に関する相談業務や、空き家に関する相談業務を行っております。

また、各種自主交流イベントも企画運営しており、令和4年度からは、多くの方々からのご寄付とお力添えの下、地域・こども食堂『らんらん食堂』をオープンいたしました。(月1回開催)

このような取り組みを通じて、地域の皆様と交流ができれば幸いです。

また、イベント等使用時以外は、レンタルスペースとしてもご利用いただけますので、ご希望される際はご相談ください。

住所 神河町柏尾 471-3
電話 0790-33-9500(一般社団法人かみかわ移住定住サポートセンター)

TSU・NA・GU④

〈福祉防災マップ作り〉

先日、作畑区で「福祉防災マップ作り」を開催しました。当日はまだ雪が多く残る中でしたがたくさんの方が集まれ、まず神河町で想定される災害について説明を聞き、次に最寄りごとのグループに分かれ、ハザードマップを見ながら、自分の家はどんな災害の危険性があるのかを確認しました。みんな、被災する危険がある家に黄色のシールを、その中でも避難に支援が必要な家には赤いシールを貼る作業をしながら、あちこちのグループで「浸水しないと思ったら土砂災害の危険がある。」「赤いシールの家は早めに避難するよう声をかける必要があるな。」「風水害や地震だけでなく、大雪の時のことも考えておかないとあかん。」などいろんな意見が聞かれ、災害を自分事として捉えるきっかけになったと思います。

福祉防災マップは、災害時に被災の危険がある場所や活用できる資源がどこにあるか、避難に支援が必要な人がどこに住んでいるかを地図に書き込み活用するものです。また、避難に支援が必要な人は、日頃の見守りも必要な人です。見守り力の高い地域は犯罪や災害に強い地域と言われています。災害はいつ起こるかわかりません。災害が起きた時に一人残らず避難できるよう、防災意識と見守り支え合いの意識を高め、災害に強い地域にしていきたいと思います。



活動目標⑥
みんなで
ボランティア

ボランティア活動への助成のお知らせ

社協では、ボランティア活動を支援するため、次のとおりボランティア活動への助成を行います。新たにボランティア活動を始めようと思われているグループや個人の方へも助成いたしますのでご活用ください。

助成の対象

- 町内および近隣市町において自主的かつ継続的なボランティア活動をおこなっているグループまたは個人
- 社協ボランティアセンターに登録していること
- 年間3回以上の継続的なボランティア活動を行っていること

助成の対象

- グループ 上限 30,000 円（グループ結成後半年以内の申請なら 50,000 円上限）
- 個人 上限 10,000 円

助成対象となる経費

ボランティア活動にかかる経費に限ります。会員のみでの懇親費用は対象外です。

社協ボランティアセンターに登録中のグループ、個人には、助成金の案内を直接お知らせします。新たに申請されるグループや助成金についての詳細は、社協ボランティアセンターへお問い合わせください。

なお、この助成金は、皆様から寄せられる善意銀行や善意の募金が財源となっております。

活動目標⑥
みんなで
ボランティア

ちょっと“イイコト”

町内の小学、中学、高校生が取組んだ「いいこと」や「誰かにしてもらって嬉しかったエピソード」を紹介します。

～ちょっと“いいこと”運動の取り組みから～

神河中 山本真由さん

Q. あなたがおこなった“いいこと”を教えてください。

A. 近所の人に朝、元気にあいさつをしたこと。

Q. あなたが誰かにしてもらった“いいこと”で心に残っていることを教えてください。

A. お店の戸をあけるときの前のひとがはいっていったから戸を手であけたままにしておいてくれたこと

Q. “いいこと”をおこなったり、してもらったことを通しての感想を書いてください。

A. いいことをおこなったりするととてもうれしくなるし、心が温かくなります。してもらって私もまたいいことをしようと思えます。

あなたがしてもらった“いいこと”を教えてください。

あなたが誰かにしてもらい嬉しかったエピソードがあればぜひ社協までお知らせください。社協広報紙に掲載し、町民の方にも優しい気持ちを届けます。

内容を200字程度にまとめ、郵送、FAX、メールにて社協へご応募ください。匿名での掲載も可能です。

心配ごと相談のご案内

4月は

無料

暮らしの安心相談

●開設時間／13時30分～16時

【相談内容】登記・相続

不動産の登記や相続、遺言に関することについて、司法書士が相談に応じます。

相談時間は、1件につき概ね30分です。

行政相談委員、人権擁護委員が同席します。

5月は

法律相談

●開設時間／13時30分～16時30分



土地や金銭問題などのトラブルを法律で解決するために**弁護士**が相談に応じます。

相談時間は、1件につき概ね30分です。複数人で相談を受ける場合、予約時にお伝えください。また、利益相反の場合は相談を受けられないことがありますので、ご了承ください。

■法律相談

開設日	会場	相談員
5月24日(水)	神崎支庁舎	兵庫県弁護士会 派遣弁護士

※相談は**予約制**です。

■暮らしの安心相談

開設日	会場	相談員
4月26日(水)	神崎支庁舎	司法書士 行政相談委員 人権擁護委員

※相談は**予約制**です。

※皆様から頂く社協会費や赤い羽根共同募金を財源に実施しています。福祉に関する相談は、社協窓口で職員が常時対応しています。

予約申込み先 神河町社協 ☎32-2303

兵庫県弁護士会でも、電話による無料法律相談を随時開催しています。

詳しくは、兵庫県弁護士会のホームページをご覧ください。☎078-341-7061

まちのトピックス

「ミニプレイパーク」が開催されました!

真冬とは思えないほど、あたたかい日差しとなった2月11日、12日に、ふれあい広場（役場本庁舎前）において、神河こどものあそび de つながる会と野外自主保育みあいっ子の主催で「ミニプレイパーク」が開催されました。

おだやかな空の下、自分たちオリジナルの様々なあそびに取り組む子どもたちの笑顔と歓声があふれていました。

おとも、コマまわしなどに悪戦苦闘しながら、子どもたちといっしょに和やかなひと時を過ごしました。



●プレイパークとは・・・

プレイパークは、こどもの「あそび」をまん中に、まちの人たちがつながることを目的としたあそび場です。

私たちは、子どもたちの「やってみたい」をできるだけ認めながら、「あそび」時間を大事に見守っています。

プレイパークは、大人も自由に入れる場所です。時には出会った人と気楽に話をしたり、時には子ども心を思い出しつつ、子どもとあそんだり。人と人がつながるきっかけになれば・・・

- 神河こどものあそび de つながる会 -
- 野外自主保育 みあいっ子 -

感謝のお知らせ

(1月11日～3月10日) (敬称略・受付順)

【善意銀行】ありがとうございます

「喜びや悲しみ、また楽しいこと、うれしいことがあった折や人生の節目などに、あなたの思いを込めて、善意銀行へ預けませんか。広く福祉事業へ有効に使わせていただきます。」

氏名	地区	預託いただいた方からの「ひとことメッセージ」
横山 美子	猪篠	父、高橋進が皆様大変お世話になりました。
田中 智也	高朝田	皆様に大変お世話になりました。
長田 郁代	中村	大変お世話になり、ありがとうございました。
道の駅 銀の馬車道 神河		
森田 照也	大畑	父、勝也が皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。
足立 好文	根宇野	母、幸子が皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。
金井 とも子	岩屋	夫、剛郎が皆様に大変お世話になりました。
澤田 三郎	大山	母、まさ子が長きにわたり地域の皆様にお世話になり、ありがとうございました。
山本 義雄	福本	母が皆様に大変お世話になりました。
小林 勤	中村	小林尚暉が皆様に大変お世話になりました。
田中 晋平	山田	関係者の皆様にお礼申し上げます。
道の駅「銀の馬車道・神河」北向き地蔵様		広く福祉のために使ってください。
匿名		
前川 豊	吉富	父、英男が皆様に大変お世話になりました。
宮本 公宏	吉富	母が大変お世話になりました。
小林 英和	寺前	父、茂が皆様に大変お世話になりました。社協の福祉事業に役立ててください。
山田 修司	大河	母が皆様に大変お世話になりました。
預託合計		506,065円
善意銀行の預託金は、子育て世代支援イベントの開催や子育てひろば、ボランティアの活動助成金、高齢者などへの福祉給食サービスの材料代などに使われています。		*善意銀行への預託は、確定申告の折、所得税の寄付金控除を受けることができます。また、次年度の町民税についても控除対象となります。(いずれも下限額あり)

お米の提供、 ありがとうございました!

ご提供いただいたお米は、町内で生活にお困りの方へお譲りしたり、福祉事業等で活用しています。また、生活困窮者を支援する団体（ワーカーズコープ、フードバンクはりま）を通して、兵庫県内で生活に困っている方にも届けられています。

昨年秋口より、多くの方々からたくさんのお米提供のご協力をいただき、誠にありがとうございました。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。

〈提供いただいた方〉(敬称略 3月10日まで)

- ・谷口 勝則 (上小田)
- ・㈱ヤマウチ代表取締役 山内忠宜 (鍛冶)

「つれづれなるままに...」
 白っぽくかすんだ空のした、心地よい、やわらかな春風に、桜ひらひらと舞い散る。
 くるりと振り向いた、寂しげに微笑む影が、そとと遠ざかる。
 出逢いとさよなら、ときめきと寂寥をくりかえし、想いもまた、巡り流れゆく。
 春爛漫の今日この頃、のどかでは気持ちも華やいできますが、身体には気をつけながら一歩一歩いきましょつ。

編集後記

かみかわペンリレー 68人目



町内の皆さんを一つの輪でつなげます。

〈前号の竹下真由美さん(貝野)からの紹介〉

さいとう あいこ
西藤 愛子さん
 (寺前)



質問:ご自身の性格を分析してみると...

答え:おおらかで適当だけど、しつこい。

質問:人にちょっと自慢できることを教えてください

答え:人見知りしない。他人の顔や名前を覚えるのが、わりと得意。

質問:あなたが思う神河町のいいところを教えてください

答え:子どもが走りまわれる。

質問:将来の夢は何ですか?

答え:笑って死ぬこと。

質問:あなたが今、夢中になっていることはどんなこと?

答え:夜に、一人でコーヒーを飲みながらマンガを読むこと。

質問:これまでの人生の中で、一番思い出に残る出来事は?

答え:護国神社での結婚式。今は他府県に住んでいる友人が、みんな姫路に集まってくれました。

質問:もし何でもかなう魔法があれば、何を願いますか?

答え:世界平和。電気代を下げる為、安定した電力供給。

◎神河町のみなさまへのメッセージをどうぞ!

100年後、200年後も、子どもが元気に走りまわっているような町にしましょう!

◎竹下さんから西藤さんにメッセージ

いつも、おもしろおかしい話を聞かせてもらってありがとうございます。